



# 青森市



自治体メモ ①生年月日②年齢③当選回数④任期⑤自宅⑥電話

市長 ● <sup>し</sup>か <sup>い</sup>ない <sup>ひろ</sup>し  
鹿内 博

① S 23.3.4 ② 66 ③ 2 ④ H 29.4.23 ⑤ 浜田2-7-6 ⑥ 017-729-8706

◆副市長／加賀谷久輝、議長／丸野達夫

◆一般会計／1,275億4,800万円(2.1%減)◆所在地／本庁舎＝中央1-22-5(〒030-0822)電話017-734-1111 浪岡事務所＝浪岡大字浪岡字稲村101-1(〒038-1392)電話0172-62-1111◆人口／292,437人

## 公共施設整備状況

	(%, m)
・道路改良率	36.5
・道路舗装率	65.9
・都市公園等(人口1人当たり面積)	13.4
・上水道等普及率	99.8
・汚水処理施設整備率	83.0

一般会計は1,275億4,800万円で、13年度に比ベ金額で27億0,300万円減、率にして2.1%のマイナス。市債借換分を除く実質的な比較では、41億3,900万円減、マイナス3.2%となるものの、合併後最大となった前年度に次ぐ予算規模とした。

このうち、普通建設事業費については、小柳第一団地建替事業など大規模事業が実施される一方、小学校給食センター新築など大型事業の完了により、18.2%減の145億9,754万2,000円となった。

建設関連の主な歳出として、5棟に分けて建て替える小柳第一団地の1棟目に着工するため、9億3,181万9,000円を計上。10月に着工し、15年3月の完成を目指す。

また、小柳小学校の校舎と屋内運動場を改築するため、改築基本・実施設計費およびプール解体設計・解体工事費として5,604万3,000円を盛った。西田沢小学校校舎の耐震補強工事費には1億6,053万1,000円を充てる。

青森競輪場は「メーンスタンド」と「選手管理棟A棟」の2棟の耐震診断を行うため、1,275万2,000円を新規で措置した。

市庁舎建替え事業については、設計プロポーザル条例案が継続審査となっていることから、13年度に執行が凍結されていた基本設計・実施設計費として1億2,164万円を再上程する。

児童館整備(支所整備事業)費は2億9,746万円で、後潟児童館および平新田児童館について、近隣支所の改築に合わせた複合型施設とし

てそれぞれ新築する。

旧野沢小学校を小牧野遺跡保護センター(仮称)として改修整備するため、2億7,358万2,000円を計上した。

八甲田丸については14-15年度の2か年で改修するため、全体事業費6億3,223万6,000円のうち、14年度分として2億5,289万5,000円を措置した。

浪岡地区の事業では、浪岡最終処分場廃止事業として1億1,665万6,000円を盛り、調査を実施した上で、15年度以降の適正化対策工事に向けた設計を行う。また、地下水等の水質調査や処分場周辺地域の農作物に関する調査などを引き続き実施する。

浪岡庁舎周辺整備では、外構、車庫倉庫建設、解体工事(第6工区)を行うため、4億8,728万6,000円を盛った。

市道・沖島田線(都市計画道路・佐野沖港線)整備事業費は5億5,431万2,000円を計上し、事業区間の用地買収および建物補償並びに埋蔵文化財調査のほか、一部本体工事を行う。

小学校非構造部材耐震化事業費には2億7,920万5,000円を盛り、41校の屋内運動場と戸山西小学校の屋内プールの調査を行うほか、工事が必要な場合の対策設計および一部工事費に充てる。

中学校非構造部材耐震化事業費は1億1,035万2,000円で、20校1分教室の屋内運動場、甲田中学校、造道中学校の武道場の調査を行い、工事が必要な場合の対策設計および一部工事を実施する。

## ◆ ◆ ◆ 当初予算概要 ◆ ◆ ◆

㊦は新規事業を示す ※は補正予算を示す

(千円)

《 建 築 》			
小柳第一団地建替事業交付金(市営住宅1棟目、14年10月着工)	931,819	㊦埋蔵文化財整理作業場整備(旧栄山小学校を改修し、新たな作用場として活用)	
公共施設整備基金積立金(小牧野遺跡資料展示施設整備事業・旧野沢小、ユーサ浅虫駐車場取得整備、消防団車両19台更新、その他公共・公用施設の改修などに活用予定)	668,180	働く女性の家改修事業(防火扉の改修、排煙設備の改修)	
浪岡庁舎周辺整備事業(外構工事、車庫倉庫建設工事、解体工事第6工区)	487,286	施設等耐震対策(青森競輪場メインスタンド棟、選手管理棟Aの耐震診断)	
支所整備(老朽化した後潟児童館および平新田児童館について、近隣支所の改築に合わせ複合型施設として整備)	297,460	地域市民館整備(町会・町内会が地域市民館を新築又は改築、改修する際の経費の一部を補助)	
小学校非構造部材耐震化事業(13年度調査校を除く41校の屋内運動場と戸山西小学校の屋内プールの調査、工事が必要な場合の対策設計および一部工事)	279,205	新・省エネルギー導入支援事業(補助金)	
金沢小学校校舎等改築(旧校舎解体工事等)	276,091	㊦はまなす会館改修(トイレの改修)	
小牧野遺跡資料展示施設整備事業(旧野沢小学校を仮称・小牧野遺跡保護センターとして改修)	273,582	児童遊園遊具等改修事業	
港湾文化交流施設改修(港湾文化交流施設・青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸を14・15年度の2か年で改修)	252,895	㊦八重田浄化センター消化ガス有効利用	
東中学校校舎等改築事業(屋外環境整備等)	231,424	㊦沖館川遊水地照明灯整備事業	
再生可能エネルギー等導入推進基金事業(東陽小・新城小・女鹿沢小設備導入工事、古川小設備導入設計)	180,427	㊦給食搬入口等改修(油川小が15年度から新たな給食センターの受配校となるため、給食搬入口等改修)	
古川一丁目12番地区優良建築物等整備事業(施設建築物新築工事を支援)	171,249	防犯灯整備事業	
小学校耐震診断・改修(西田沢小学校校舎耐震補強)	160,531	㊦再生可能エネルギー等導入推進基金事業(浦町中学校設備導入工事設計)	
㊦文化施設機能整備(地域の元気臨時交付金・青森市民会館、青森市民ホール、青森市民美術展示館などの老朽化した施設設備等を整備)	156,488	㊦再生可能エネルギー等導入推進基金(今年10月に供用開始する浪岡中央公民館の設備導入工事設計)	
庁舎等耐震対策(新庁舎建設に伴う基本設計および実施設計プロポーザル)	121,640	徳長農村センター管理事務(老朽化の著しい屋根について、錆止め塗装等の補修)	
中学校非構造部材耐震化事業(20校分教室の屋内運動場と甲田中学校、造道中学校の武道場の調査。工事が必要な場合の対策設計および一部工事)	110,352		
㊦スポーツ施設機能整備事業(地域の元気臨時交付金)(青森市民体育館、青森市宮野球場、青森市スポーツ会館を対象に、老朽化した施設設備等整備)	92,499	《 土 木 》	
あおもり北のまほろば歴史館(仮称)整備(歴史民俗資料等の展示施設として活用するため、みちのく北方漁船博物館を改修)	77,591	公共下水道雨水対策施設整備事業(市街地における浸水被害を軽減するため、公共下水道の整備による雨水対策を計画的に実施)	925,000
筒井中学校校舎等改築事業(屋外環境整備等)	64,523	佐野沖線線道路整備(事業区間の用地買収および建物補償並びに埋蔵文化財調査、一部本体工事)	554,312
市場施設整備(青森市中央卸売市場No.3青果保冷库冷却設備改修、同No.1ポイラー改修、同場内通路舗装、同機械棟屋上防水改修)	60,355	石江地区一般保留地購入費助成事業(契約額の一部を助成)	299,436
小柳小学校校舎等改築(改築工事基本・実施設計、プール解体設計、プール解体工事)	56,043	下水道汚水処理施設整備事業(下水道事業特別会計・新田浄化センターブロー増設、八重田浄化センター最終沈殿池改築機械)	280,000
小学校大規模改修事業(耐震補強工事を行う西田沢小学校校舎のトイレ水洗化等改修)	53,259	㊦ユーサ浅虫臨時駐車場整備(用地取得し舗装等整備)	191,460
㊦西田沢小学校校舎等改築事業(屋内運動場改築実施設計、地質調査業務、プール解体工事)	44,020	一般廃棄物最終処分場運営管理(浸出汚水の処理等を行うほか、一部修繕工事により浸出水処理施設の機能維持を図るとともに、処分場全体の現状把握など適切な維持管理のための調査検討)	139,573
		貴船川河川改修事業	139,341
		浪岡最終処分場廃止事業(一部除去対象となる廃棄物等の分布を把握するための調査を実施し、15年度以降に予定している適正化対策工事の実施に向けた設計を行うほか、処分場内外における地下水等の水質調査や処分場周辺地域において栽培された農作物に関する調査などのモニタリング調査を引き続き実施)	116,656
		道路街路等整備(3・4・3号貝具八重田線奥野2街路整備、道路ストック総点検事業交付金)	113,300
		浪岡湿生花園外公園整備事業(浪岡湿生花園施設整備、花岡公園施設整備)	103,795

小牧野遺跡整備(史跡公園として整備)	101,960
荒川中部地区ほ場整備推進(面工事)	71,895
諏訪沢地区ほ場整備推進(面工事)	70,145
八ツ役地区ほ場整備推進(面工事)	40,371
中山間農業地域支援	36,039
防災対策事業(海抜表示板の設置および津波避難ビルの設定を実施するほか、原子力災害対策として、安定ヨウ素剤や放射線測定資機材の整備)	23,323
金浜・大別内地区ほ場整備推進(換地確定・登記申請)	23,184
石江地区一般保留地処分あっせん事業(契約が成立した場合に、あっせんを行った者にあっせん料を支払う)	22,211
公園整備事業(都市公園安全・安心対策)	20,050
石江地区一般保留地商業施設等開設支援事業(金融機関から融資を受けた場合に、利子のうち年4%以内の額を5年間補助)	20,000
⑩橋梁長寿命化修繕	15,980
上野地区ほ場整備推進(詳細設計)	12,335
ため池点検・ハザードマップ作成	11,680
幸畑地区ほ場整備推進(詳細設計)	10,573

●市庁舎等改築 (管財課)

今年度は公募型プロポーザル方式により基本設計・実施設計を委託したい考え。設計は、現在地での建替えを前提とした新庁舎A棟新築、現庁舎(第一庁舎・第二庁舎・急病センター)解体、駐車場棟建設のほか、議会棟耐震改修、柳川庁舎耐震改修などを対象とする。

しかし、現在地での建替えを目指す青森市の計画に対し、一部の市議会会派や商工会議所青年部らが青森駅周辺への移転新築を主張し反発。互いの意見は平行線をたどり、3月定例市議会では、同プロポーザル審査委員会設置条例案が否決されるなど、建設場所をめぐる議論の決着の行方に注目が集まっている。

鹿内博青森市長は、建設候補地の再検討の可能性も含め、14年4月に方針を明らかにする考えだ。

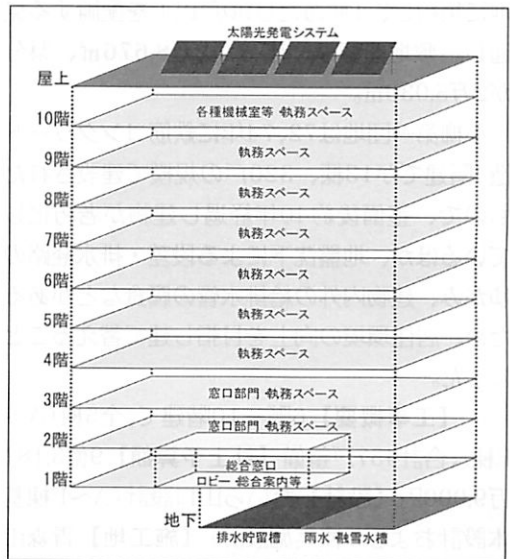
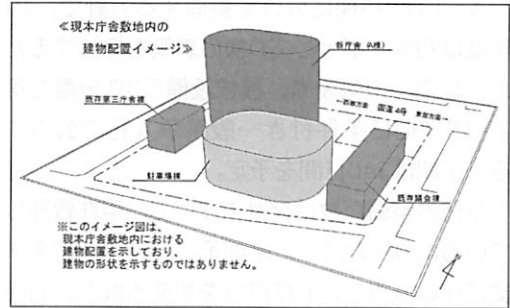
13年度に策定した市の基本計画によると、工事は主に3段階に分けて行う。第1段階として、第一、第二庁舎および急病センターの3施設を集約した1棟目の新庁舎(A棟)を現在の正面駐車場部分に新築。柳川庁舎と議会棟については当面の措置として耐震補強を行う。第2段階として浪岡庁舎を改築。第3段階として柳川庁舎、議会棟、第三庁舎を集約した2棟目の新

⑪小学校公共下水道切替事業(新城小からの排水を下水道本管に接続)	9,936
⑫道路補修事務所下水道改修(下水道へ接続する義務が生じた道路補修事務所の水洗化工事)	6,500
⑬水ヶ沢線林道災害復旧	6,187
市有林造林	5,791
農業土木工事支援	4,756
不法投棄防止対策事業(建設工事に伴って発生する産業廃棄物の保管状況を把握、立入検査および指導等実施)	3,408
野木地区ほ場整備(換地清算)	2,400
⑭浅虫道路管理システム設置(大雨の際に冠水する危険性の高い浅虫地下道に監視カメラ設置)	2,109

《 業 務 》

民間建築物耐震診断・普及啓発事業(耐震診断が義務化された建築物の耐震診断に必要な経費の一部を助成)	73,971
⑮道路ストック総点検(橋梁等の老朽化が社会問題化されていることに伴い、橋梁・舗装・道路附属物・道路路面といった道路施設の総点検を行う)	53,300

庁舎を第三庁舎の解体跡地に整備するほか、議会棟解体後、跡地に立体駐車場を新築する。



青森市新庁舎A棟の配置イメージ図(上)と断面イメージ図(下)

このうちA棟については、2か年事業で基本・実施設計を行い、3か年事業で新築したいと考えて、工事発注に際しては12年6月に交付・施行された「青森市中小企業振興基本条例」を踏まえ、地元企業も受注しやすいよう考慮し、分離発注や大手と地元とのJVなども視野に入れた従来型の「直接建設方式」を想定している。

□【工事概要】<A棟>地下1階地上10階建程度、延べ2万1,478.12㎡<改築対象施設>第一庁舎、第二庁舎、第三庁舎、急病センター、議会棟、柳川庁舎、浪岡庁舎【計上予算額】庁舎等耐震対策＝1億2,164万円(新庁舎建設に伴う基本設計および実施設計プロポーザル等)【総事業費】97億円以内(A棟新築および既存庁舎の耐震補強工事費)、未定(B棟新築ほか)【設計】ニュージェック(基本計画)【施工地】青森市中央1丁目22-5地内ほか【事業期間】11-36年度

#### ●小柳第一団地建替 (住宅まちづくり課)

A～E棟の5棟に分けて整備する方針で、14年度は初弾工事としてD棟の新築を発注するため、建築、電気設備、機械設備の3件分離で第1・四半期に条件付き一般競争入札で公告する。工期は540日間を予定。

全体の整備戸数は合計457戸で、現在管理している320戸のほか、幸畑第二団地の建替え事業に伴い減少した137戸分を加えるなど、同団地に集約し、1棟あたり90戸以上を配置する見通し。敷地面積は、市分が2万8,676㎡、県分が2万5,030㎡。

小柳第一団地は72、74年に鉄筋コンクリート造4階建てが13棟、320戸の規模で建設されたもので、整備後約40年経過し建物が老朽化しているほか、地盤沈下による段差・排水経路のゆがみ、建物内外の給排水管の腐食などがあるため、居住環境の向上を目指し建て替えることにした。

□【工事概要】6階-10階建て、全5棟(A～E棟)、合計457戸整備【計上予算額】9億3,181万9,000円【設計】たいら山口設計(A～E棟基本設計およびD棟実施設計)【施工地】青森市小柳3丁目、4丁目地内【事業期間】08年度-

#### ●小柳小学校校舎・屋内運動場改築

(教育委員会総務課)

14年度に屋内運動場改築の基本・実施設計を行い、15-16年度の2か年事業で改築する。校舎の改築については、14年度に基本設計、16年度に実施設計を行い、17-18年度の2か年事業で改築する。また校庭は、19年度に実施設計を行い、20年度の単年度で整備する見通しとなっている。

改築事業に伴い、既存のプール、旧屋内運動場、旧校舎を解体する。解体のスケジュールは、プールについては14年度の単年度で解体設計および解体工事を行う。また、旧屋内運動場は15年度に解体設計、16年度に解体工事を行う。旧校舎は18年度に解体設計を行い、19年度に取り壊す。

新しい校舎および屋内運動場は、現在のグラウンドに建設し、完成後に旧施設を取り壊しグラウンドとして整備する計画。

同小学校の校舎は73年3月、屋内運動場は同年12月にそれぞれ建設された。いずれの施設も、建築基準法の耐震基準が改正された81年5月31日以前に建築確認を受けて建設されており、06年度に耐震診断を行った結果、屋内運動場は耐震性がなく耐震補強が困難と判断されたほか、校舎についても老朽化が著しいことから、抜本的な対策として改築することにした。

□【工事概要】<既存施設>校舎＝鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建、延べ5,314㎡、屋内体育館＝鉄骨造平屋建、1,089㎡【計上予算額】校舎・屋内運動場改築基本・実施設計費およびプール解体設計・解体工事費5,064万



改築する小柳小学校

3,000円【総事業費】未定【設計】<14年度>基本・実施設計(実施設計は屋体のみ)、プール解体設計<15年度>旧屋内運動場解体設計<16年度>校舎実施設計、旧校舎解体設計<19年度>校庭整備設計【施工地】青森市小柳4丁目6-1地内【事業期間】12-20年度

### ●西田沢小校舎耐震補強・屋内運動場改築 (教育委員会総務課)

14年度は、校舎耐震補強工事を第1・四半期に発注するほか、屋内運動場改築実施設計業務、地質調査業務、プール解体工事を発注。屋内運動場については、15-16年度の2か年事業で改築工事を行う。旧屋内運動場は、16年度に解体設計、17年度に解体工事を順次発注。また、校庭整備については、17年度に設計、18年度に工事を行う。西田沢小学校の校舎は59年の竣工以来、数回の増築を経て、現在では木造平屋建、1,421㎡規模となっている。また、屋内運動場は66年に木造平屋建、387㎡規模で建設された。

校舎および屋内運動場は、いずれも新耐震基準が適用される81年以前に建築確認を受けて建設されているため、11年度に耐震診断を行った。その結果、校舎は補強が可能とした一方、屋内運動場については補強が困難と判断したことから、それぞれ別々の対策を講じることとしたもの。耐震診断業務については、カトー建築設計事務所が担当した。

□【工事概要】<既存施設>校舎=木造平屋建、1,421㎡、屋内運動場=木造平屋建、387㎡【計上予算額】1億6,053万1,000円(校舎耐震補強)、4,402万円(屋内運動場改築実施設計、地質調査業務、プール解体工事)【総事業費】4



校舎耐震補強および屋内運動場改築を行う西田沢小学校

億8,163万円【設計】ユーアンドエー都市建築設計事務所(校舎耐震補強等設計)【施工地】青森市飛鳥字塩越80地内【事業期間】13-18年度

### ●小牧野遺跡保護センター整備(旧野沢小学校活用) (文化財課)

旧野沢小学校を小牧野遺跡保護センター(仮称)として改修整備するもので、第1・四半期に改修、電気設備、機械設備、外構の4件を一般競争入札で発注する。1階部分をメイン展示室、2階部分を体験学習室や遺物保管室に改修し、小牧野遺跡や縄文遺跡から出土した遺品などを展示する。廊下の壁も展示空間として利用するほか、保管室の遺物はガラスケースに収納し、外部からも見えるようにする。同小学校の校舎は、81年に建設された施設で、荒川小学校への統合に伴い12年に閉校したことから、小牧野遺跡資料展示施設に転用改修し、引き続き活用を図ることとした。同遺跡の出土品については現在、同市柳川2丁目の青森市森林博物館にその一部を展示しているが、手狭になり、新たな展示施設の整備が必要となっていた。

□【工事概要】<既存施設>鉄筋コンクリート造2階建、延べ1,908㎡【計上予算額】2億7,358万2,000円【設計】中嶋五郎設計事務所(改修設計)、アール・エー・ビー開発(展示制作等設計)【施工地】青森市野沢字沢部108-5ほか地内【事業期間】13-14年度

### ●支所整備 (地域サービス課)

経年により支所庁舎の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、順次再整備を進めているもので、14年度は第1・四半期に後潟支所整備(後潟支所と後潟児童館の合築)、第2・四半期には原別支所整備(原別支所と平新田児童館の合築)をそれぞれ発注する。いずれの工事も、発注は建築、電気設備、機械設備の3件分離で、すべて一般競争入札で公告する見通しとなっている。

□【工事概要】<14年度実施>後潟支所=後潟児童館との合築(現支所の位置、旧診療所跡地を活用)、原別支所=平新田児童館との合築(原別小学校の利用されていない屋外プールを解体・撤去してその跡地に整備)<15年度以

降>浜館支所=支所単体で整備(現在の位置)、奥内支所=北部地区農村環境改善センターへ移転【計上予算額】2億9,746万円【設計】丸山建築設計事務所(後潟支所整備)【施工地】青森市六枚橋字磯打25-8地内(後潟支所)【事業期間】12年度-

### ●浪岡庁舎周辺再整備事業車庫・倉庫改築 (浪岡事務所総務課)

14年度はA棟・B棟を改築するため、建築、電気設備、機械設備の3件に分け、第1・四半期に指名競争入札で発注する。また、外構整備を5件に分けて第1・四半期~第2・四半期にかけて発注するほか、既存施設の解体工事を行う。倉庫・車庫はA~C棟の3棟を新築する計画で、C棟については、横山建設(建築・機械)、中谷電気(電気)が施工を担当した。

同事業は、老朽化を解消するため、①浪岡中央公民館(公民館別館=克雪館含む)②浪岡消防署③車庫倉庫=をそれぞれ改築するほか、外構を整備するもの。

□【工事概要】<車庫倉庫>鉄骨造平屋建、3棟新築(A~C棟)<外構>駐車場、歩道、広場、バス停など【計上予算額】浪岡庁舎周辺整備事業=4億8,728万6,000円(外構工事、車庫倉庫建設工事、解体工事第6工区)【設計】花田設計(車庫倉庫等改築設計)、まちづくりフォーラム(外構設計)、平塚建築設計事務所(基本計画)【施工地】青森市浪岡浪岡稲村地内【事業期間】12-15年度

### ●港湾文化交流施設「八甲田丸」改修 (交通政策課)

老朽化が進む青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」の保存・活用に向けた改修を行うもので、14-15年度の2か年事業で船体改修工事を実施する。八甲田丸は青函連絡船としての役割を終えた後、これまで果たしてきた役割や同市の歴史を後世に伝えるため、90年に観光施設として開業したが、経年による老朽化に伴い傷みが目立ってきていることから、改修および機能維持を図ることにした。

□【工事概要】船体改修【計上予算額】船体改修工事2億5,289万5,000円【総事業費】6



保存・活用に向け船体改修工事を行う八甲田丸

億3,223万6,000円【設計】北浜造船鉄工(詳細設計)、北浜造船鉄工(船体調査業務)【施工地】青森市柳川1丁目112-15地先【事業期間】12~14年度

### ●青森競輪場耐震診断 (競輪事業所)

メインスタンド棟および選手管理棟A棟が対象で、14年7月にも耐震診断業務の入札を行う。財源には国の「住宅・建築物安全ストック形成事業」を活用する方針で、14年6月にも補助金の交付決定がおりるとみられる。耐震診断業務の委託期間は、14年8月から15年3月までの7か月間を予定しており、15年2月には県建築物耐震診断・改修判定委員会(県建築士事務所協会)に耐震診断判定を依頼する。耐震診断判定の結果、耐震改修が必要と判断された場合は、15年10月に設計を委託し、16年7月末に完了させる。改修工事については、16年11月から17年3月末までの約5か月間を想定しているが、改修内容により工期が延びる可能性もあるとしている。

いずれの建物も新耐震基準に移行する81年以前に建築確認を受けて建設されているため、耐震性を調べることにしたもので、関連施設の選手管理棟B棟や選手トレーニングセンター、藤崎場外車券売場については、新耐震基準で建設されていることから、耐震診断の対象外とした。

□【工事概要】<メインスタンド>鉄筋コンクリート造地下1階地上8階建、延べ約1万6,000㎡<選手管理棟A棟>鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建、延べ約2,800㎡【計上予算額】1,275万2,000円(メインスタンド棟、選手管理棟A棟の耐震診断委託料)【総事業費】未

定【設計】15年10月発注予定【施工地】青森市新城平岡1-1地内【事業期間】14年度以降

### ●競輪場「新場外車券売場」設置検討

(競輪事業所)

14年度に実施するメインスタンド棟および選手管理棟A棟の耐震診断の結果、「耐震改修は不要」と判断された場合、15年度から「新場外車券売場」の設置検討事業に着手する方針だ。想定スケジュールによると、本場施設(メインスタンド棟および選手管理棟A棟)の耐震改修が不要となった場合、15年9月にも候補地選定と立地評価に関する調査費を補正計上し、規模や機能、対象候補地の選定、評価を行うほか、設置にかかわる概算費用を算出する。一方、本場施設の「耐震改修が必要」と判断された場合、耐震改修工事を優先するため、新場外車券売場の新設については別途検討する。

新しい場外車券売場建設の検討については、青森競輪の運営方針の一つに掲げられており、建設候補地については、青森競輪経営企画委員会において会議を行った結果、青森駅前周辺地区および古川地区の2か所が示されている。青森競輪の関連施設は、藤崎場外車券売場、青森市安方前売サービスセンターの2施設を運営しているが、同市内のサービスセンターは利用者数の多い施設にもかかわらず、利用者がくつろいだりレース映像を観たりするスペースがないほか、当日の払い戻しができないことから、新場外車券売場設置に向けた具体的な検討を行っている。

□【工事概要】未定【計上予算額】未計上【総事業費】未定【施工地】青森駅前周辺地区または青森市古川地区【事業期間】15年度以降

### ●貴船川河川改修 (公園河川課)

04年度から事業を進めており、14年度は河川改修工事(護岸工、排水樋門工各一式)など3件を第1・四半期に一般競争入札で発注する。貴船川は、川幅が狭く流下能力が低い上、下流部は住宅が密集しており、融雪時や豪雨時には氾濫し、特に99年10月の豪雨では大きな水害を受けたことから、河川改修を行っている。

□【工事概要】<14年度事業>護岸工、排水樋門工、土工、舗装工、側溝工各一式<全体計画>総延長700m、現状8mの川幅を暫定30m、最終的に40mまで拡幅【計上予算額】1億3,774万1,000円【総事業費】45億2,000万円【設計】みちのく計画【施工地】青森市野内字鈴森地内【事業期間】04-21年度

### ●3・2・2号内環状線(浜田)街路整備

(道路建設課)

3・2・2号内環状線のうち3・5・4号堤町通り浜田線(県道青森浪岡線)から浜田字豊田(浜田小学校付近)までの区間を整備するもので、14年度は用地補償8件、補償費再積算業務一式を予定している。

□【工事概要】整備延長約620m(幅員30m)【計上予算額】2億8,438万8,000円【総事業費】37億5,000万円【設計】みちのく計画【施工地】青森市浜田地内【事業期間】03-16年度

### ●市道・沖島田線(都市計画道路・佐野沖范線)新設 (道路建設課)

14年度は、13年度に引き続き、事業区間の用地買収および建物補償並びに埋蔵文化財調査のほか、一部本体工事を行う。工事は、第1・四半期に橋梁上部工桁製作を随意契約で発注するほか、第3・四半期には橋梁上部工架設を指名競争入札で発注するなど、合計7件を予定している。

同事業の施工ルートは、「中世の館」付近の青森市浪岡字岡田地内(市道浅井野脇線)から浪岡総合公園付近の沖范地区(市道大鰐浪岡線)に至る区間で、浪岡南小学校の東側を経由する形で整備する。このうち、岡田地区から市立浪岡南小学校までの区間に道路を新設し、中世の館付近を流れる浪岡川を跨ぐ形で橋梁1基を整備する。また、浪岡南小学校より南側のルートについては、既存の道路を拡幅する形で整備する。

同路線は、浪岡地区の外環状線として、中弘南黒地方と浪岡地区中心部とを結ぶ全長約2,500mの市道で、新市計画合併特例債事業の一環で整備する都市計画街路「佐野女鹿沢線」の一部を構成する。今回はこのうち、路線南側の約

1,580mを先行して整備するもので、残る北側の約920mについては15年度以降に着手し、最終的に浪岡ショッピングセンター正面の主要地方道青森浪岡線まで開通させる方針だ。

□【工事概要】＜14年度分＞橋梁上部工桁製作、橋梁に伴う浪岡川護岸、橋梁上部工架設、道路改良、埋蔵文化財本掘く全体計画＞延長1,580m、幅員16m、橋梁1基新設【計上予算額】5億5,431万2,000円（一部本体工事、用地買収および建物補償並びに埋蔵文化財調査）【総事業費】20億1,168万7,000円【設計】開発技研（詳細設計、橋梁詳細設計および地質調査、平面・路線測量および橋梁予備設計など）、明青技研（道路整備付帯その2設計）【施工地】青森市浪岡浪岡ほか地内【事業期間】11～15年度

### ●浪岡最終処分場廃止事業（清掃管理課）

法の規定による廃止基準を満たし、将来にわたって生活環境保全上支障がないことを確認のうえ、適正に廃止する計画で、14年度は、13年度に策定した基本計画に基づき、15年度からの適正化対策工事を実施するために必要な詳細設計や環境モニタリングを行う。

15年度は、処分場適正化に向けた対策工事に着手するほか、継続した環境モニタリングを行う予定となっている。

現在の同処分場は、旧浪岡町直営で76年6月に供用を開始。98年6月に廃棄物搬入を停止している。埋立方法は、丘陵部の凹地形を利用し、頭頂部から投げ込まれたゴミを丘陵の一部を切り崩して薄く覆土処理する投げ込み式で、主に不燃ゴミ・粗大ゴミなどが埋立処理されている。

□【工事概要】＜施設概要＞埋立面積約5万㎡、埋立容量約25万6,000㎡、埋立量約11万3,000㎡、埋立法・セル式サンドイッチ方式（ゴミ層3mに0.5m覆土）【計上予算額】1億1,665万6,000円（詳細設計、環境モニタリング）【設計】パシフィックコンサルタンツ（三次調査および基本設計）、玉野総合コンサルタント（現地詳細調査検討）【施工地】青森市浪岡吉野田字荷越沢41～494地内（敷地面積8万6,170㎡）【事業期間】11年度～

### ●公共下水道雨水対策施設整備

（上下水道整備課）

市街地における浸水被害の軽減を図るため、公共下水道による雨水対策を進めているもので、14年度は補助事業として富田ポンプ場工事や八重田浄化センター合流雨水ポンプ現場操作盤改築工事、単独事業として奥野第三ポンプ場場内整備などを行う。市の下水道による雨水浸水対策達成率は13年度末で57.1%となっている。

□【工事概要】＜14年度分＞補助＝富田ポンプ場工事ほか、八重田浄化センター合流雨水ポンプ現場操作盤改築工事、単独＝奥野第三ポンプ場場内整備工事【計上予算額】9億2,500万円（補助9億2,200万円、単独300万円）【施工地】青森市内一円【事業期間】52年度～

### ●公共下水道汚水処理施設整備

（下水道整備課）

14年度も引き続き整備の進捗を図るため、污水管渠整備工事や管渠施設改築工事、新城地区詳細設計業務委託のほか、八重田浄化センター最終沈殿池改築工事などを発注する。市の下水道事業は、旧青森市の区域については1952（昭和27）年から整備を進めており、13年度末で普及率78.8%、旧浪岡町の区域については90年から整備を進めており、13年度末で普及率71%となっている。

□【工事概要】＜14年度分（青森）＞青森地区污水管渠整備（八重田処理区単独1.4ha、同補助4ha、新田処理区単独1.5ha、同補助4.1ha）、管渠施設改築工事、新城地区詳細設計業務委託、蜷貝ポンプ場耐震化2期工事、八重田浄化センター最終沈殿池改築、新田浄化センターNo.3フロア増設（機械・電気）など＜14年度分（流域）＞浪岡地区污水管渠整備（単独0.5ha、補助5ha）＜全体計画＞処理計画人口24万2,590人、面積4,524ha、浄化センター3か所（八重田、戸山、新田）など【計上予算額】青森＝12億7,808万円（単独1億7,037万9,000円、純単1億3,142万9,000円、補助9億4,400万円）、流域＝7,355万7,000円（単独1,800万円、純単955万7,000円、補助4,600万円）【総事業費】約2,540億円【施



【工】 青森市内一円【事業年度】 52年度一

### ●富田ポンプ場新設 (下水道整備課)

公共下水道雨水対策施設整備事業の一環として、移転した県立青森工業高校の旧野球グラウンド跡地に新設するもので、昨年8月、土木の入札を行った結果、阿部重・木村建設工事JVが9億4,800万円(税別)で落札。現在、15年3月27日までの工期で作業を進めている。今後、15年度に上屋の建築工事を行い、16年度にも設備工事を発注。18年度の工事完成を目指す。

上屋の新築規模は、約660㎡程度を想定しており、内部には雨水ポンプ設備2台を設置する。排水能力は、1台あたり3.3t/秒で、合計6.6t/秒の雨水を排水する。また、接続する雨水幹線として、管径2,400mmと同1,650mmのヒューム管を推進工法で布設する。実施設計はニュージェック、地質調査は三陽技研が担当した。施工地は青森市富田1丁目地内で、移転した県立青森工業高等学校の野球グラウンド跡地。

□【工事概要】 上屋新築=約660㎡(雨水ポンプ設備2台設置)、排水能力=1台あたり3.3t/秒×2台、雨水幹線(推進工法)管径2,400mm、同1,650mmヒューム管布設【計上予算額】 公共下水道雨水対策施設整備=9億2,200万円(富田ポンプ場工事のほかに八重田浄化センター合流雨水ポンプ現場操作盤改築工事費など含む)【設計】 ニュージェック【施工地】 青森市富田1丁目地内【事業期間】 13-14年度(土木)、15年度(建築)、16-18年度(設備)

### ●蜷貝ポンプ場耐震化2期 (下水道整備課)

14年度に3件分離で工事を発注する見通しで、建築を第1・四半期、電気設備、機械設備の2件については第2・四半期に、それぞれ一般競争入札で公告する。関連工事の1期工事については、昨年10月に発注し、大管工業が施工を行った。同ポンプ場は80年に建設されたもので、大日本コンサルタントの担当で耐震診断を行った結果、耐震補強が必要と判断され、工事に踏み切ることにした。

□【工事概要】 <既存施設> 事務棟=鉄筋コンクリート造地下1階地上6階塔屋2階建、延

べ1,436.5㎡、ポンプ棟=鉄筋コンクリート造地下2階地上6階塔屋1階建、延べ7,811.7㎡

【計上予算額】 公共下水道汚水処理施設整備=9億4,400万円(蜷貝ポンプ場耐震化2期工事のほかに、八重田浄化センター最終沈殿池改築、新田浄化センターNo3フロワ増設機械・電気工事、管渠施設改築工事など含む)【設計】 日水コン【施工地】 青森市青柳1丁目9-12地内【事業期間】 12-13年度

### ●斎場大規模改修 (生活安心課)

将来的な改築も視野に入れつつ、16年度の大規模改修を前提に、14年度から修繕計画に着手する方針。同施設は、72年9月の開設で、施設の老朽化が進んでいる。

□【工事概要】 <既存施設> 鉄筋コンクリート造平屋建、1,470㎡(人体火葬炉7基、胎児火葬炉1基、動物火葬炉1基、拾骨室2室、控室4室)<既存駐車場> 普通車30台分【計上予算額】 未計上【総事業費】 未定【施工地】 青森市新町野字菅谷138-1地内【事業期間】 16年度(予定)

### ●青森探車場跡地利用計画 (住宅まちづくり課)

12年度に計画素案を策定し、本素案を基に同計画審議会(会長・菅勝彦青森大学社会学部長)が調査審議を行い、土地利用の方向性について答申した。答申を踏まえ、13年度からは関係機関と調整を進めており、今年度に同計画を策定する予定だ。

審議会の答申によると、①防災機能を備えた公園②新駅設置を含む交通結節点③公共施設の建設用地の三つを柱にまとめ、医療機関や文化施設の整備などのハードメニューを盛り込んでいる。具体的には、「防災機能を備えた公園」では、緑豊かな市民交流の場としてオープンスペースを創造するとともに、防災も想定した駐車場機能を備える。また、東西のアクセス道路整備後の残った緑地部分についてはウォーキング等の公園機能を付加するとした。「新駅を含む交通結節点」では、青い森セントラルパークへのアクセスについて、東西に広く延びた用地を利用し、災害時の防災道路として利用できるよ

う整備するとともに、広域的視点からのアクセスを強化する。また、新駅設置に伴い、自転車歩行者が横断できる自由通路を整備するほか、駅周辺道路の拡幅など、市内中心部とのアクセスを強化するとした。「公共施設の建設用地」では、文化活動や生涯学習など、多様な交流が展開できるコミュニティ機能や中心性のある施設のほか、医療機関など防災機能に関連がある施設の整備などについても検討する。また、防災の観点も考慮した避難所機能を持った施設とし、省エネルギーにも配慮した環境共生型の施設とする。さらに、これら三つの土地利用が相乗効果を発揮するため、避難道路としても使える東西南北の交通アクセス強化が重要とした。

操車場跡地のうち「青い森セントラルパーク」の利活用をめぐるっては、県と青森市が「低炭素型モデルタウン事業」として計画を進め、11年5月には事業を行う優先交渉権者を決定していたが、市民から不満や反対を訴える声が相次ぎ、同年10月に中止に追い込まれた。その後、市がまとめた利用計画素案をたたき台に、12年9月から13年3月にかけて利用計画審議会(会長・菅勝彦青森大学社会学部長)を開くなど、検討を進めている。

【工事概要】青森操車場跡地(約21.2ha)の利活用【計上予算額】未計上【設計】未定【施工地】青森市浦町地内(操車場跡地)【事業期間】未定



## 弘 前 市



自治体メモ ①生年月日②年齢③当選回数④任期⑤自宅⑥電話

市長 ● 葛西 憲之

① S 21.11.3 ② 68 ③ 2 ④ H 30.4.15 ⑤ 不明 ⑥ 不明

◆副市長/蛭名正樹、議長/田中元

◆一般会計/775億1,000万円(1%増)◆所在地/本庁舎=大字上白銀町1-1(〒036-8551)電話0172-35-1111 岩木庁舎=大字賀田1-1-1(〒036-1393)電話0172-82-3111 相馬庁舎=大字五所字野沢41-1(〒036-1592)電話0172-84-2111◆人口/179,415人

公共施設整備状況  
(%, m)

・道路改良率	71.4
・道路舗装率	70.2
・都市公園等(人口1人当たり面積)	12.6
・上水道等普及率	97.3
・汚水処理施設整備率	96.5

一般会計は775億1,000万円で、前年度当初に比べ金額で7億8,000万円増、率にして1%上回り過去最大規模となった。主な歳出は、国の「地域の元気臨時交付金」を活用する13事業に約17億9,000万円を計上。この中で、運動公園リニューアル事業に10億6,512万8,000円を盛り、陸上競技場改造・2種公認更新や球技場人工芝化、野球場バックスクリーン更新などを実施する。また、泉野多目的広場コミュニティ施設に着工するため1億6,000万円の工事費を計上した。

さらに、継続費設定事業では、岩木庁舎整備事業が総額12億円(14年度分・4億8,000万円)、埋立処分場第2次第2区画造成は同13億0,554万円(同・6億5,277万円)、裾野小学校建設事業は同9億4,527万1,000円(同・2億8,358万9,000円)、青葉団地市営住宅建替事業は同13億1,110万円(同・5億2,490万円)となっている。

特別会計は、水道事業の第4期拡張事業に3億3,000万円、水道施設整備事業に1億7,160万円、老朽管更新事業には1億4,000万円を措置した。

### 当初予算概要

◎は新規事業を示す ※は補正予算を示す

(千円)

#### 《 建 築 》

事業名	1,311,100 (14年度・524,900 15年度・786,200)	1,200,000 (14年度・480,000 15年度・720,000)
青葉団地市営住宅建替		岩木庁舎整備事業庁舎整備